

重症児者の在宅支援を担う医師等養成事業 インテンシブコース

本コースは地域と連携して重症児者の在宅医療支援を行える専門職を養成するために、「重症児のライフステージに応じた支援ができる」ことを目標に、E-ラーニングとグループワークで構成されています。

令和
8年度

受

講

生

募

集

コースに
ついて

開講期間

令和8年 5月～8月

受講料

1万円 / 全4回

定員

15名

対象

鳥取県内で在宅重症児者の支援に関わっている（関わりたいと思う）方

（医師、看護職員、保健師、社会福祉士、相談支援専門員、リハビリ専門職、介護福祉士、保育士、薬剤師、教育関係者等）

※医療・福祉・教育関係者など職種は問いません

応募に
ついて

申込期間

4月6日～5月10日

申込方法

研修申し込みサイトマナブル

※申込方法は別紙を参照してください。

お問合せ先



とっせいかんごちゃん

公益社団法人鳥取県看護協会

ナーシングデイこすもす

〒680-0901 鳥取市江津318-1

TEL：0857-30-5568

（受付：月～金 9：00～17：00）

FAX：0857-30-5567

Mail：cosmos@tottori-kangokyoikai.or.jp



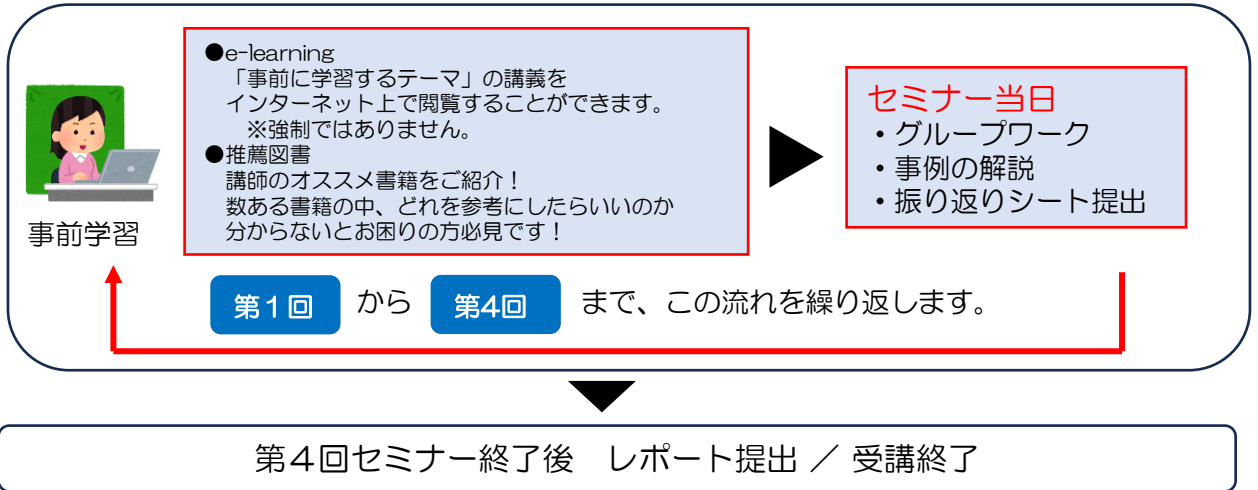
HPはこちら

インテンシブコース

● コース概要

重症児・者の在宅支援を行うために必要な知識・コーディネート能力を習得します。e-learningシステムを使った学習ではご自身のペースで繰り返し学習ができ、また多職種の方が参加するグループワークでは、医師等が講師となり症例を通してより実践に近い形で学ぶことができる人材育成研修です。

● 受講の流れ



● コース日程

研修会場：エスパック未来中心 セミナールーム1 および7

	日付	時間	テーマ
第1回	5/31 (日)		<ul style="list-style-type: none">・多職種連携に関するミニレクチャー・ワールド・カフェ「自分自身の目標を設定しよう」・グループワーク【乳幼児期】・NICUからの在宅移行と幼児期の支援・応用編
第2回	6/28 (日)	13:00	<ul style="list-style-type: none">・グループワーク【学童期】・就学時の支援と学校での医療的ケア ・応用編・グループワーク【思春期】・日中の活動の場と身体合併症の管理について考える ・応用編
第3回	7/26 (日)	17:00	<ul style="list-style-type: none">・グループワーク・【成人期】 親亡き後の支援を考える・【緩和ケア】 子どもと家族のQOL 緩和ケア
第4回	8/30 (日)		<ul style="list-style-type: none">・グループワーク・【リスクマネジメント】 自宅での突然死症例から学ぶ・【マルチリートメント】 障害児におけるマルチリートメント

● 受講生の声



医療の知識が乏しいため専門用語や医療器具について想像しがたい状況でしたが、研修で色々質問ができ理解を深めることができました！



他職種の方々がどのように関わっているかよくわかりました。横のつながり、顔の見える関係ができ研修後に色々相談ができたことが1番の収穫です！



様々な職種の方々と情報交換ができました。なかでも研修終了後にレポートを提出すると講師から個別にもらえる意見が参考になり、毎回心待ちにしていました！